

令和3年度 年間授業計画

東京都立小山台高等学校・定時制課程

教科・科目	公民 現代社会		単位	2単位
学年	2年		教科担当者	佐藤 良一
使用教科書 副教材等	■高等学校 新現代社会（第一学習社）			
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会のしくみについての基礎的な知識・理解を深める。 ・現代社会の基本的な問題について主体的に考察し、公正に判断できるようになる。 ・自分自身の在り方生き方について考察する力の基礎を養う。 			
学期	月	単元（指導内容）	指導目標	時数
1学期	4月	私たちの生きる社会	現代社会に対する関心を高め、自己との関わりに着目しながら在り方生き方を考察させる。	14
	5月	青年期と自己形成	青年期の意義と自己形成の課題を理解・考察させ、青年の生き方について自覚を深めさせる。	
	6月	現代の民主政治と政治参加の意義①	憲法3大原理や議会制民主主義など、民主政治の形態を理解させ政治参加の意義を理解させる	14
	7月	1学期期末考査		
夏季休業	8月	夏季休業		
2学期	9月	現代の民主政治と政治参加の意義②	憲法3大原理や議会制民主主義など、民主政治の形態を理解させ政治参加の意義を理解させる	9
	10月	現代の経済社会と私たちの生活①	現代社会の経済について、市場経済の仕組み、労働、企業等の面から理解させる。	18
	11月	現代の経済社会と私たちの生活②	日本が直面している財政や社会保障などの諸課題について主体的に考察させる。	
	12月	2学期期末考査		
3学期	1月	国際政治の動向と日本の役割	国際政治の動向に触れながら、国際政治の役割や日本の果たすべき役割について考察させる。	15
	2月	国際経済の動向と日本の役割	国際経済の動向に触れながら、国際経済の役割や日本の果たすべき役割について考察させる。	
	3月	学年末考査		
学習者への注意	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜこの単元テーマを学ぶのか」と、学習の目的を考え主体的に学ぶこと ・知識を覚えるだけでなく、諸課題に対して自分の考えや意見を持つこと 			
評価の観点・方法	①定期考査 ②ノート・プリント等の提出物 ③平常点 の総合点で評価			

